

環境経営レポート

対象期間：2023.10～2024.9



エコアクション21

発行日 2024.12.1

株式会社カッター産業

目 次

目 次	P1
(1)組織の概要	P2
(2)環境経営方針	P3
(3)環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P4
(4)環境経営目標及びその実績	P5
(5)環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	P6～P11
(6)環境関連法規制等の遵守状況 並びに違反、訴訟などの有無	P12
(7)外部からの環境上の苦情・要望等	P13
(8)緊急事態対応の試行・訓練	
(9)その他の活動	P14
(10)代表者による全体の評価と見直し・指示	P15

1.組織の概要

・事業所名 株式会社 カッター産業

・代表者名 代表取締役 松本 大輔

・所在地 〒432-8064 静岡県浜松市中央区倉松町1339-2

・責任者及び連絡先

環境管理責任者 西野 守彦

連絡先 TEL <053>449-3567
FAX <053>447-0364
E-mail info@cutter.jp



* NC工具研削盤

・事業内容

切削工具の再研削・再生・リサイクル(ハイス・超硬)

切削工具の製作

規格品工具より追加工

各種コーティング受託販売

機械工具販売



・設立 昭和 55 年 1 月 6 日(1980)

・事業規模

過去3年間の実績 (10月～翌年9月迄)

	単位	2021年	2022年	2023年
主要製品生産量	t	17.15	15.21	16.96
売上高	万	10,536	10,266	10,439
資本金	万	1,000	1,000	1,000
従業員	人	10	10	10
床面積	m ²	346.38	346.38	346.38

$$\text{生産量} = \frac{\text{年間売上高} \times 1\text{ヶ月の生産高(重量)}}{1\text{ヶ月の売上高}}$$

*人数については、P(パート)1人で0.5人

2021年 = 2021年10月～2022年9月

2022年 = 2022年10月～2023年9月

2023年 = 2023年10月～2024年9月

売上高 = 決算書

生産量 = 原材料投入量により毎月出した数字の合計

・対象範囲

全組織・全活動・全従業員を対象

2.環境経営方針

＜基本理念＞

当社は、切削工具の再研削・製造を行う事業所として、地球環境に優しい企業を目指し、地球環境保全と、資源循環型社会の構築に貢献できるよう環境経営活動に取り組みます。

お客様に喜んでいただけるよう、効率よく無駄なくお客様に提供する事が一番の環境対策と考え、全従業員一丸となり継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜行動指針＞

- ① 環境に対する意識改革のため、必要な教育・訓練を行い全従業員に周知徹底します。地域社会や社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- ② 環境関連法規等の遵守に努めます。
- ③ 次の課題について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

1 自社製品の環境配慮

2 購入電力・化石燃料共二酸化炭素排出量の削減

3 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再利用

4 水使用時の節水活動

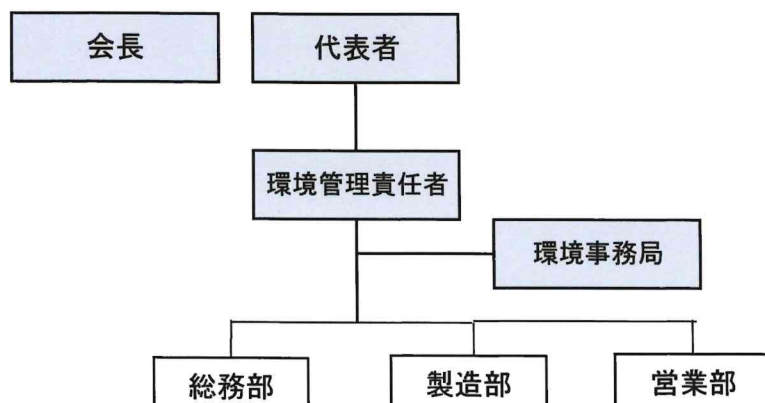
- ④ この環境方針は、社外へも公表します。

制定日 2011年10月1日

改定日 2022年10月1日

株式会社 カッター産業
代表取締役
氏名 松本 大輔

3.環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、制約する ・効率的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意をする ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う
会長	・アドバイザー
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門長	・部門内における環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
全従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.環境経営目標及びその実績

環境経営方針を踏まえて、下記の項目について環境目標を設定した。

なお、下記削減目標は2020年度～2022年度の平均値を2023年度の目標とし、以後は毎年0.5%減。

環境目標		単位	2023年度 目標 (2020～2022平均)	2023年度 実績	評価	2024年度 目標	2025年度 目標	
自社製品の環境配慮								
1	再生材料の活用	本	190	201	◎	190	190	
			営業努力 (現状維持)	目標比 106%		営業努力 (現状維持)	営業努力 (現状維持)	
2	不適合品(クレーム)の削減	%	全体の 1%以内	0.06%	◎	全体の 1%以内	全体の 1%以内	
				目標比 86%				
3	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	51,903	55,108	×	51,707	51,447	
				目標比 106.2%		-0.5%	-1.0%	
	1-1電力使用量の削減	kWh	87,358	89,915	×	86,921	86,484	
				目標比 102.9%		-0.5%	-1.0%	
	1-2ガソリン使用量の削減	L	4,509	4,722	×	4,486	4,464	
				目標比 105%		-0.5%	-1.0%	
	1-3灯油使用量の削減	L	400	396	◎	398	396	
				目標比 99%		-0.5%	-1.0%	
	4	一般廃物排出量の削減	kg	324	281.55	◎	322	321
					目標比 87%		-0.5%	-1.0%
廃棄物排出量の削減		kg	164	145.40	◎	163	162	
				目標比 89%		-0.5%	-1.0%	
5	水使用量の削減	m³	60	47	◎	60	60	
			節水努力 (現状維持)	目標比 78%		節水努力 (現状維持)	節水努力 (現状維持)	

凡例 ◎:達成 ×:未達成

※電力の二酸化炭素排出量の把握には、A0050 ENEOS の2022年度調整後排出係数メニューD(残差)の0.480kg-CO2/kWhを用いました。

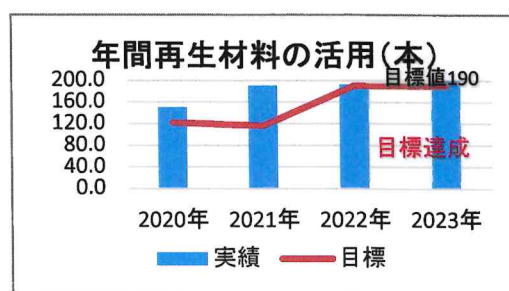
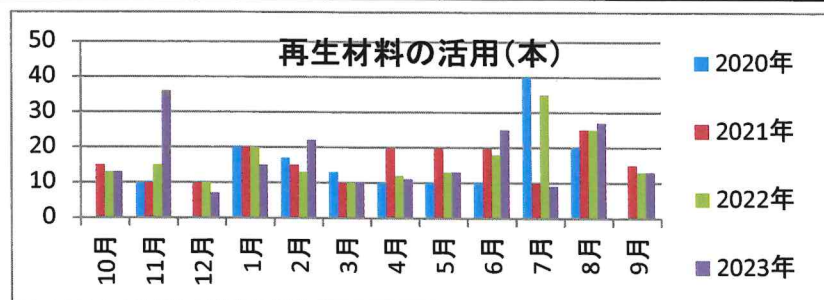
※年度の期間:毎年10月～翌年9月

5.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×できなかった

担当	営業部	松本大
自社製品の環境配慮		
再生材料の活用		
達成状況		
取組結果とその評価		
数値目標	○	SDGS意識が高まっている為、再生利用が見直されてきた。
廃材使用の提案	◎	ユーザーの困っている事の聞き取りをして、新しい
再生材料の製品販売	○	商品の開発にも力を入れることが出来た。
次年度の取組計画		
再生利用への提案強化。		
新製品の開発		
取組計画	10月	11月
	12月	1月
	2月	3月
	4月	5月
	6月	7月
	8月	9月
	年間	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標現状維持	15	10	10	20	15	10	20	20	20	10	25	15	190
2020年	0	10	0	20	17	13	10	10	10	40	20	0	150
2021年	15	10	10	20	15	10	20	20	20	10	25	15	190
2022年	13	15	10	20	13	10	12	13	18	35	25	13	197
2023年	13	36	7	15	22	10	11	13	25	9	27	13	201

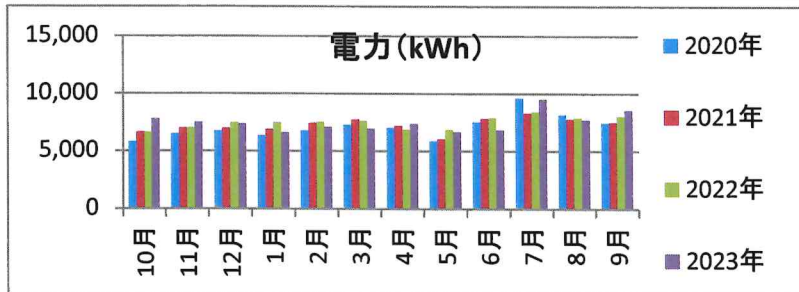
担当	製造部・営業部												
自社製品の環境配慮					松本大								
不適合品(クレーム)の削減					達成状況	取組結果とその評価							
数値目標					○	顧客との会話を大切に、社内のコミュニケーションをとりながら、業務を円滑に進めていく事が出来た。同時に、検査の徹底と再研時振れ確認等、基本事項の徹底を行った。							
顧客とのコミュニケーション					○								
製造部・営業部のコミュニケーション					○								
納品前検査の徹底					◎								
再研時振れの確認の徹底					◎								
						次年度の取組計画							
						引き続き継続していく。							
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
													→年間

目標0.1%以内													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2020年	0.03%	0.05%	0.09%	0.11%	0.08%	0.08%	0.06%	0.07%	0.04%	0.05%	0.01%	0.07%	0.06%
2021年	0.02%	0.05%	0.05%	0.12%	0.04%	0.13%	0.01%	0.11%	0.05%	0.05%	0.11%	0.10%	0.07%
2022年	0.02%	0.05%	0.05%	0.12%	0.04%	0.13%	0.05%	0.11%	0.05%	0.05%	0.01%	0.09%	0.06%
2023年	0.03%	0.04%	0.05%	0.08%	0.05%	0.08%	0.05%	0.06%	0.04%	0.05%	0.05%	0.10%	0.06%

担当	環境管理責任者 松本大												
地域の社会貢献活動					達成状況	取組結果とその評価							
中学生職場見学受け入れ					○	地元中学校より依頼があった為、職場体験の受け入れをした。将来どんな仕事につきたか？世の中にはどのような職業があるのか？等考えるきっかけになれば良いと思う。							
						次年度の取組計画							
						来年も依頼があれば実施予定							
取組計画 (職場体験)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
													●

担当	全部門	西野
----	-----	----

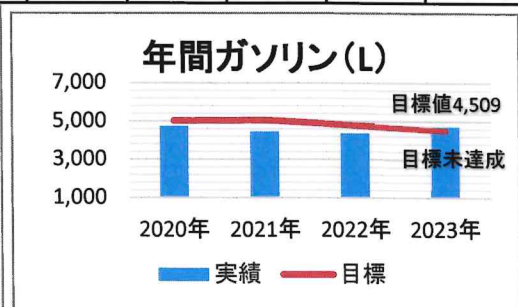
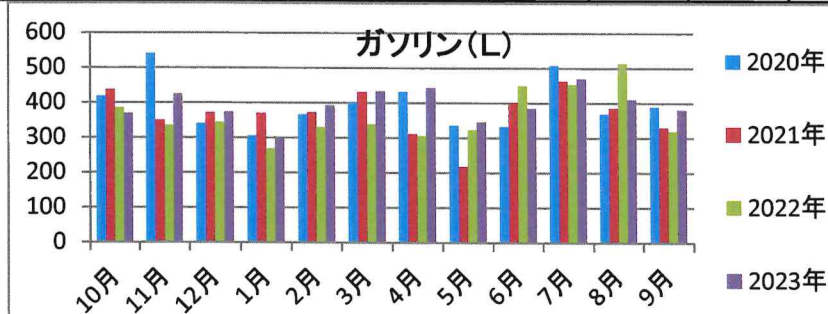
電力使用量の削減				達成状況		取組結果とその評価						
数値目標				×		梅雨時期から気温が高く、冷房を使う期間が例年に比べて長かった。35℃以上の日が多かったため、7月～9月の消費電力が多めになった。夏場の消費電力は増えたが、年間の消費電力は前年と変わらなかったため、普段の節電対策の効果があったと評価できる。						
空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)				◎								
未使用機械の電源オフ				○								
コンプレッサーのエア漏れ点検				○								
工場の断熱塗料の塗布				◎		次年度の取組計画						
デマンドコントロールによる監視				◎		引き続き仕事の効率化を追求して、電力使用量の削減活動を継続していく。電気消し忘れ「0」を目指す。デマンドをうまく使い、スイッチを入れるタイミングをずらす等して最大電力を抑える。						
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
→年間												



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標2020～2022平均	6,364	6,836	7,058	6,907	7,242	7,552	7,034	6,262	7,744	8,777	7,936	7,646	87,358
2020年	5,795	6,501	6,739	6,347	6,765	7,267	7,020	5,891	7,526	9,612	8,156	7,431	85,050
2021年	6,664	6,992	6,955	6,871	7,431	7,753	7,188	6,045	7,826	8,313	7,761	7,483	87,282
2022年	6,634	7,016	7,479	7,502	7,529	7,635	6,895	6,850	7,880	8,407	7,892	8,024	89,743
2023年	7,788	7,497	7,356	6,603	7,066	6,939	7,389	6,667	6,831	9,509	7,717	8,553	89,915

担当	営業部	松本大
----	-----	-----

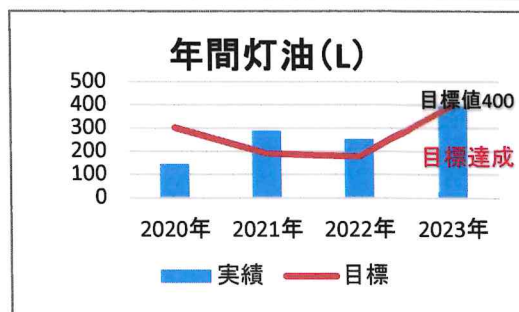
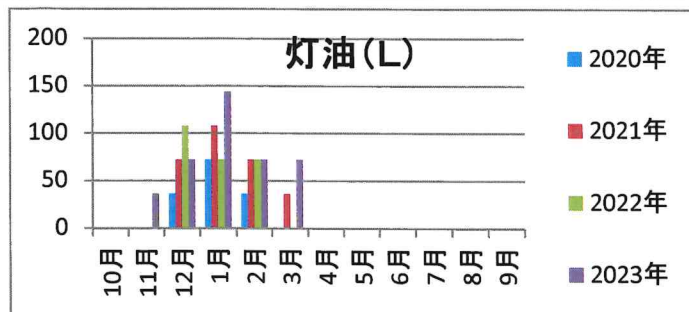
ガソリン使用量の削減				達成状況		取組結果とその評価						
数値目標				×		前年度より、走行距離の伸び率に対してガソリン使用量が減少。エコ運転が出来たと評価できる。						
・走行距離把握、エコドライブ				○								
・同一方向の合理化				○								
・アイドリングストップ				△		次年度の取組計画						
						日頃からのメンテナンス及び、余裕をもって営業に臨むことが非常に重要になって来る。夏の異常な暑さは今後も続く予想できる為、常に意識をもって活動してほしい。						
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
→年間												



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標2020～2023平均	413	408	351	314	356	389	349	292	394	474	422	345	4,509
2020年	418	541	340	305	367	399	432	335	331	507	369	388	4,732
2021年	437	349	371	370	372	431	310	217	402	462	385	329	4,434
2022年	385	334	344	269	330	338	305	322	449	453	513	319	4,361
2023年	369	424	373	301	392	433	443	345	384	469	410	380	4,722

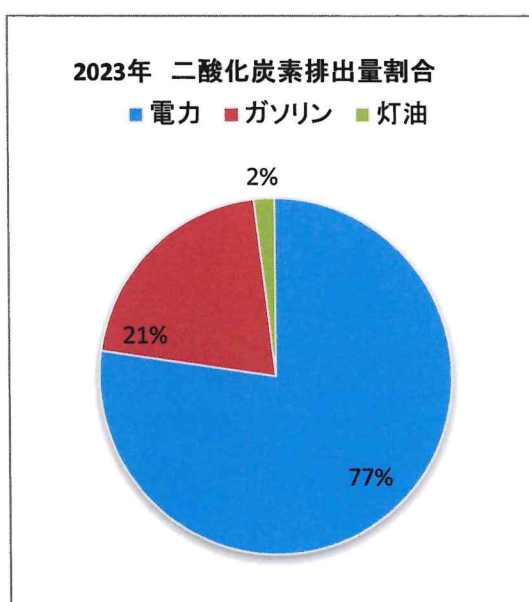
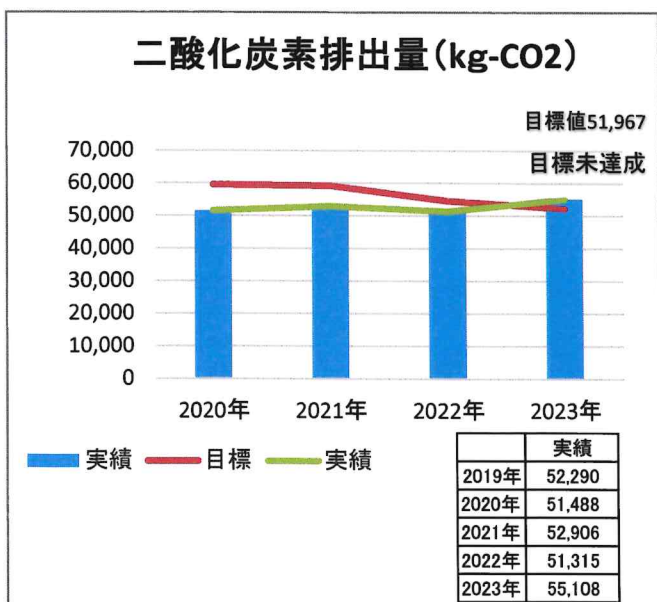
担当	総務部	松本大
----	-----	-----

灯油の削減				達成状況		取組結果とその評価						
数値目標				○		昨年より事務所を広い1階に移動した為、目標値の見直しをした。寒い日は一枚多く着るなどした。暖気が逃げないように、カーテンをつける等工夫したことにより、目標達成となった。						
・空調温度の適正化				◎								
・空調機のフィルター清掃				◎		次年度の取組計画						
						冬季の気温変化により左右されない断熱化の検討要						
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		●	●	●	●							



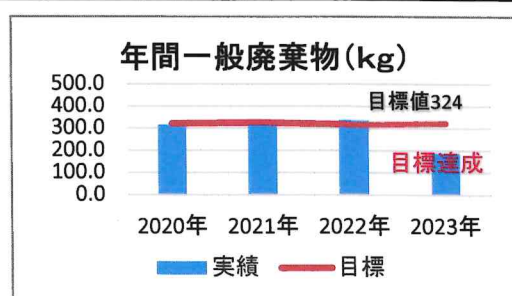
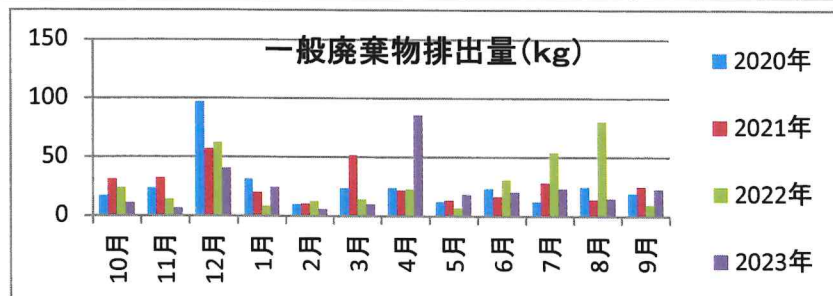
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
暫定目標	0	0	100	100	100	100	0	0	0	0	0	0	400
2020年	0	0	36	72	36	0	0	0	0	0	0	0	144.00
2021年	0	0	72	108	72	36	0	0	0	0	0	0	288.00
2022年	0	0	108	72	72	0	0	0	0	0	0	0	252.00
2023年	0	36	72	144	72	72	0	0	0	0	0	0	396.00

項目	単位	2023年度 目標	2023年度 実績	評価	2024年度 目標	2025年度 目標
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	51,903	55,108 目標比 106.2%	未達成	51,643 -0.5%	51,384 -1.0%
次年度の取組計画						
引き続き、地球温暖化・二酸化炭素排出量を意識し、必要最小限の使用を心掛けていく。						



担当	総務部	松本恵
----	-----	-----

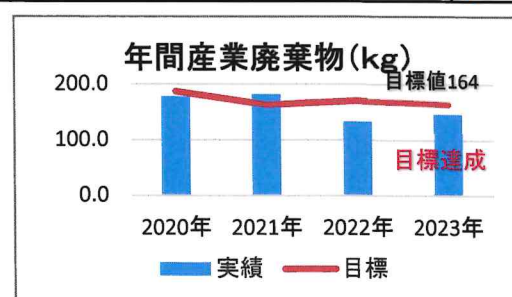
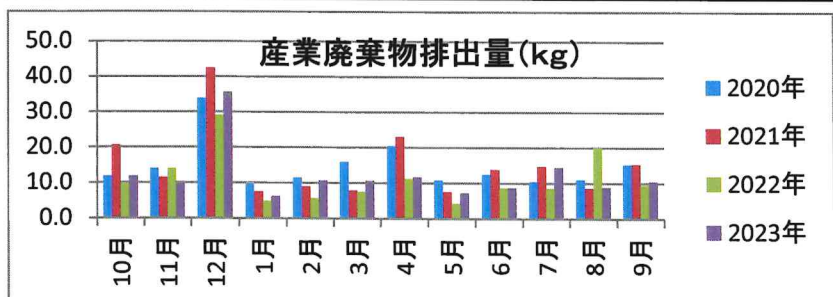
一般廃棄物排出量の削減				達成状況	取組結果とその評価							
数値目標				○	廃棄物の分別に関しては1年を通じて問題なし。今後もレンタルウエスを積極的に利用していく必要がある。ペーパレス化により、一般廃棄物が減少傾向にある。							
定められた方法に従って分別				◎								
帳票見直しによる印刷物の削減				○								
梱包材の再利用				◎								
裏紙再利用				◎	次年度の取組計画							
					引き続き、削減を心掛ける。							
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
												➤年間



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標2020～2022平均	24	23	72	20	11	30	23	11	23	31	40	18	324
2020年	16.95	23.3	96.8	31.2	9.6	23.3	23.6	12	23.2	12	24.4	19.1	315.45
2021年	31	32.25	57	20	10	51.4	21.4	13	16.4	28	13.9	24.8	319.15
2022年	23.8	13.9	62.3	8.1	12.15	13.9	22.65	6.55	30.65	53.78	80.2	9.2	337.18
2023年	11	6.3	40.3	24.15	5.4	9.8	85.6	18.35	20.05	23.2	14.8	22.6	281.55

担当	製造部	西野
----	-----	----

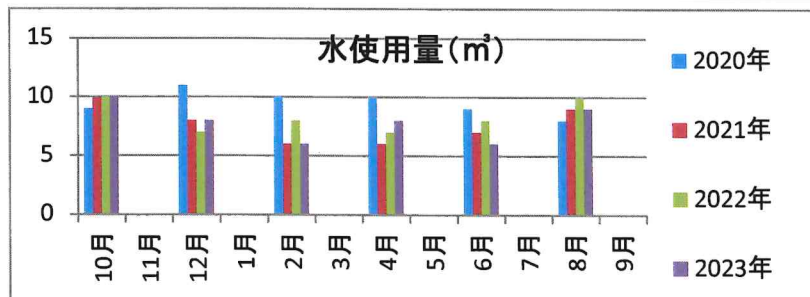
産業廃棄物排出量の削減				達成状況	取組結果とその評価							
数値目標				○	産業廃棄物排出量は削減出来ているが、仕事量と比例して廃棄物は増加する為、難しいところである。							
定められた方法に従って分別				◎								
素材別ボックスの設置				◎								
リサイクル業者の開拓				○	次年度の取組計画							
					継続実施。							
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
												➤年間



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標2020～2023平均	14	13	35	7	9	10	18	7	12	11	13	13	164
2020年	11.8	14.0	33.8	10.0	11.4	16.0	20.4	10.8	12.4	10.4	11.0	15.2	177.2
2021年	20.6	11.4	42.4	7.4	8.9	7.8	23.0	7.4	13.8	14.7	8.6	15.4	181.3
2022年	9.6	14.0	29.0	4.8	5.6	7.4	11.2	4.2	8.6	8.5	20.2	9.4	132.45
2023年	11.8	9.6	35.6	6.2	10.6	10.6	11.6	7.2	8.6	14.4	8.8	10.4	145.40

担当	全従業員	西野
----	------	----

水使用量の削減				達成状況		取組結果とその評価						
数値目標				○		水の無駄使いもなく、使用量も大きく変わらなかったため、引き続き節水が出来ている。雨水タンクの利用、水漏れに対する意識の高さも評価できる。						
節水シールの貼り付け				◎								
節水コマの取付				◎								
						次年度の取組計画						
						引き続き、節水呼びかけを続け節水努力をする。						
取組計画	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
												年間



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標現状維持	10	0	10	0	10	0	10	0	10	0	10	0	60
2020年	9	0	11	0	10	0	10	0	9	0	8	0	57
2021年	10	0	8	0	6	0	6	0	7	0	9	0	46
2022年	10	0	7	0	8	0	7	0	8	0	10	0	50
2023年	10	0	8	0	6	0	8	0	6	0	9	0	47

<評価>

電力 使用量	原因	・夏場の気温が高く暑い期間が長かった為、冷房を使用する頻度が高めだったことが考えられる。
	是正	・温度設定を守り、こまめに電気を消す等、日々の活動が続けていく必要がある。 ・デマンドをうまく使い、スイッチを入れるタイミングをずらす等して最大電力を抑える。
ガソリン	原因	・前年度より、走行距離の伸び率に対してガソリン使用量が減少 エコ運転が出来たと評価できるが、遠方への訪問が増えてきている事が原因と考えられる。
	是正	・日頃からのメンテナンス及び、余裕をもって営業に臨むことが非常に重要になってくる。 目標値の見直しも検討する。
二酸化 炭素	原因	電力使用量、ガソリンが目標達成していない為、二酸化炭素総排出量も、未達成に終わったと考えられる。
	是正	地球温暖化・二酸化炭素排出量を意識し、必要最小限の使用を心掛ける。

6.環境関連法規制等の遵守状況

遵守評価:◎遵守出来ている ○一部遵守出来ていない ×遵守不十分 ・遵守出来ていない

1.下記の通り違反はありません。

2024.10.1 松本恵梨

法令の名称	該当する要求事項	判定
フロン排出抑制法	■第1種特定機器(簡易点検)年4回四半期ごと実施	◎
	■第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	◎
下水道法	□下水道への放流	◎
騒音規制法	■特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守 ■特定施設事前届出 例:空気圧縮機7.5KW以上、切断機(砥石使用) ■特定施設の変更届(直近の届出の2倍以内の数に増加する場合は不要)	◎
振動規制法	■特定特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守 ■特定施設事前届出 ■特定施設の変更届	◎
廃棄物処理法	■委託基準:産廃収集運搬・処分業者の許可の確認、契約	◎
	■保管基準 掲示板:60cmX60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理	◎
	■マニフェスト交付 B2,D票90日、E票180日以内に送付されない場合は 30日以内の浜松市への報告 A,B2,D,E票の保管(5年間)	◎
	■産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	◎
	■自社による運搬時の表示、書類携行	◎
家電リサイクル法	■事業者及び消費者の責務 (特定家庭用機器廃棄物の適切な引き渡し、料金の支払)	本年度なし
自動車リサイクル法	■使用済自動車の引取り業者への引渡義務 (廃棄時)	本年度なし
消防法	■消防用設備等の点検	◎
	■危険物取扱(指定数量以内)	

2.訴訟等の有無

・地域住民及び関連当局からの訴訟等の指摘は過去3年間ありませんでした。

7.外部からの環境上の苦情・要望等

苦情・要望等は、ありませんでした。

8.緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態記録 (発生・ <u>訓練</u> ・テスト)		承認	確認	作成
		松本大	増井ち	松本恵
区 分	緊急事態発生 <u>緊急事態対応訓練</u> 手順テスト (該当項目を○で囲む)			
日 時	2024年 4月 19日			
緊急事態発生 訓練又はテスト の内容	場所: 株式会社カッター産業 駐車場 内容: 消火器取り扱い訓練 ・地震等による漏電火災発生を想定し、初期消火にあたる。 同時に消火設備を点検する。			
	訓練・テストの場合参加者: 全員			
担当部署責任者	西野 守彦			
問題点 改善点 再発防止策 水平展開 確認事項等 検証	・消火器取り扱い→良好(全員使用出来た) ・消火器本体: 更新時期→期限内 劣化、錆なし→良好 ・対応策に問題はなかった。 			
対策手順書変更	手順書の変更の必要性: 有 <u>無</u> (該当項目を○で囲む) 手順書名: 主な変更内容:			
備 考				

9.その他の活動

1.会議、勉強会

エコアクション21に関する報告や教育を積極的に行っています。



2.活動推進

各環境取組実施事項で表示物を掲示して周知徹底をしています。

(省エネ エアコン設定温度の掲示)



(水使用量削減 節水ポスターの掲示)



(EA21 専用掲示板での啓蒙活動)



活動紹介

(断熱塗料の塗布)

エアコン使用節約の為添



(電気センサースイッチ採用)

生産性向上・消し忘れ防止



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024/11/6

全体評価

様々な値上げが目立ち、苦しい一年だった。経済も減少しており、売上維持が難しい中、
エコ活動については各担当者及び従業員全員が高い意識を持ち継続することが出来たと感じる。
内容として、
①購入電力：未達成。気温と湿度が高い期間が長く目標値に届かなかった。
②ガソリン使用量：未達成。走行距離の伸びに対してガソリン使用量が減少、エコ運転は出来たが達成できなかった。
③廃棄物：達成。昨年に引き続きリサイクルを積極的に使用し削減を実現できた。
④水使用：達成。雨水利用を継続し、節水の意識を維持できた。
⑤再生材料の活用：達成。新しい商品開発に力を入れることが出来た。

次年度への取組

○電力について、暑い期間が長くエアコン使用を抑えるのは厳しく作業効率の低下を招きかねない。
高温による機械等の故障も考えられるため、対策を検討していく。
○ガソリン使用量、日頃からメンテナンス行い、余裕を持って営業に臨めるようにする。
○廃棄物・水使用量について、リサイクルの使用は積極的に行っている為、継続していく。
グラインダー使用範囲を均等にするよう心掛ける。
○再生材料の活用について、情報収集を行い新製品を開発しPRに含めていく。
景気の悪化が止まらず、売上を維持するのが非常に難しい状況が予想される為、新しい物へ
挑戦する年にしていく必要がある。

	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・無	
2	環境経営目標	有・無	営業努力を続けること
3	環境経営計画	有・無	
4	実施体制	有・無	
5	その他のシステム要素	有・無	
6	その他(外部への対応)	有・無	

株式会社 カッター産業
代表取締役 松本大輔